

住友ゴム工業(株)加古川工場

環境保全対策実施報告書

1. 環境保全対策実施状況(平成25年度)

(1) 大気汚染防止対策

推進の内容	実施の成果
① ガスボイラーの最適運転により大気汚染防止に取り組む ア: ボイラーの定期整備 イ: 排ガスの定期測定 ウ: オンライン 24 時間監視システム エ: メンテナンス契約(メーカー点検・整備等)	・ボイラーメーカーとの 24 時間監視システムによる運転管理と定期的なメーカー定期整備によりボイラーの適正な運転が出来ました。
② 省エネ改善活動の推進 ア: 省エネ委員会の活動 イ: 蒸気, エア, 熱の漏れ箇所調査、修理	・原単位は対前年比 93%で 7%エネルギー使用率が向上しました。 *原単位: 単位生産量当りのエネルギー使用量

(2) 騒音、振動防止対策

推進の内容	実施の成果
① 騒音発生源対策及び保安員による工場周辺パトロールの継続	・工場敷地境界における騒音は、規制値内にあります。 *騒音測定地点は、添付資料をご参照下さい。

(3) 悪臭防止対策

推進の内容	実施の成果
① 定期測定時にパトロールを実施し、日常管理の強化。 又、発生源対策として、溶剤系材料の使用量削減に取り組む	・工場敷地境界における悪臭等は、規制値内にあります。

(4) 緑化対策

推進の内容	実施の成果
★ ① 工場敷地内の緑地の維持管理	・緑化環境の維持・向上が図れました。 絶滅危惧種の育成（フジバカマ、ナガボテンツキ）、 カギヤの植付、どんぐり育成 *添付資料をご参照下さい
② どんぐりプロジェクトの推進	・外部移植 平成25年度： 50本 どんぐり銀行 募集： 8000ヶ

(6) 地域連絡会

推進の内容	実施の成果
① 地域との交流	・6/3～7 「トライやるウィーク」で、陵南中学校から4名受入れ、生産工場の業務について、理解を深めて頂きました。 ・6/7 加古川工業団地としての一斉清掃に参加をしました。 ・8/2 加古川レガッタ大会の会場設営にボランティアとして参加しました。 ・11/11～15 インターンシップ 高校生2名を受入しました。

(7) その他

推進の内容	実施の成果
① ISO14001 の維持	・12月更新審査完了、今後も継続的に、環境改善に取り組んで参ります。
② 内部監査	・内部監査員スキルアップ 研修実施

1. 協定値と実績値の比較

(1) 大気関係

(実績値：最大値または年間総排出量)

項目	協定値	実績値
全燃料中の加重平均硫黄分 (%)	—	—
硫黄酸化物排出量 (Nm ³ /H)	—	—
窒素酸化物排出量	(Nm ³ /H)	0.7
	(t/年)	8.6

* 四捨五入

2. 環境保全活動

(1) 平成26年度基本方針

項目	内容
基本方針	<p>「環境に優しい企業活動で、地球の未来を守ります」</p> <p>近年、環境問題は従来の地域社会的な問題から、地球規模という空間的な広がり、将来の世代にもわたる時間的な広がりを持つ問題となってきました。地球環境の保全は国際社会が共同で取り組むべき人類の課題であり、持続可能で環境負荷の少ない経済社会を構築していくことが重要であるとの認識のもとに住友ゴム工業株式会社ハイブリッド事業本部加古川工場は、社会に信頼される企業の基本的な責務として、全ての事業活動と企業市民としての生活を通して、総合的、創造的に地球環境の保全に取り組みます</p> <p>～住友ゴム工業(株)加古川工場環境方針抜粋～</p>
組織体制	<pre> graph TD A[工場長] --- B[環境管理 (ECO) 委員会] A --- C[総務・人事課] A --- D[経理・購買駐在] A --- E[製造第一課] A --- F[製造第二課] A --- G[生産課] A --- H[生産技術課] A --- I[工務課] A --- J[品質管理課] B --- K[課ECO 委員会] B --- L[省エネルギー委員会] </pre>

(2) 平成26年度環境保全活動計画

環境保全活動	目標	目標達成の為の計画、方策
化学物質対策	化学物質の維持管理による 使用量削減	① 化学物質の維持管理強化による 使用量削減 ② 取外したPCB機器の適正保管を行 い、化学物質の漏洩防止に努めます。
エネルギー対策 (地球温暖化防止対策)	・法令及び協定の順守 ・エネルギー原単位を 対前年2.5%削減	① 工程の生産性を向上させること により、電力・蒸気原単位の改善 を実施します。 ② 保温の強化拡充、及びバルブ・トラ ップ・配管等の漏れ点検を強化し、 迅速に修理を行います。 ③ プレス成形機用作用油を摩擦特性 の優れた省エネ型に変更して、油圧 ポンプの電力消費を30%削減しま す。 ④ 老朽化した空調機を高効率空調 機に更新を行い、効率を20~30% 上げ消費電力を削減します。 ⑤ 工程排水の再利用
廃棄物対策	・法令の順守 ・廃棄物発生率(有価除く)を 対前年17%削減	① 製品の仕損を削減して廃棄物発 生量の削減に努め、引続きゼロエミ ッションを継続します。
騒音防止対策	・法令及び協定の順守	② 騒音発生源対策及び保安員によ る工場周辺パトロールを継続します。
緑化対策	・緑地の維持管理	① どんぐりプロジェクトの推進 ② 生物多様性保全活動拡大 「フジバカマ」「チガヤ」「カゴテンツキ」 第3工場の緑化推進
悪臭対策	・法令及び協定の順守	① 定期測定時にパトロールを実施し、日 常管理の強化に努めます。 又、発生源対策として、溶剤系材料の 使用量削減と水系化の取組み転換を 進めます。
土壌汚染対策	・法令及び協定の順守	① 浄化処理を継続します。又、定期 測定結果を市環境政策課殿へ報告継 続します。
環境マネジメントシステム	・環境マネジメントシステムの運用と 推進	① ISO14001 環境マネジメントシステムの運 用により、環境面での継続的改善を図 って行きます。
地域社会への参画	・地域社会との相互理解強化 と環境保全活動への参画	① 事業所周辺の清掃活動 ② 例年通り「トライやるウィーク」による 中学校生の受入れ実施 ③ 近隣小学生にゴミについての座学 と実験体験を計画

添付資料

緑化活動

フジバカマ(秋の七草)
10月開花

- ・芝生広場は、
 - ①歩道橋傍に「フジバカマ」用花壇を新設
 - ②道路側フェンス沿いをどんぐり苗置場にする。
(本社植え付け分を引き受け)



- ・池周辺をどんぐりの苗置き場、落ち葉からの肥料作成の場に確保。
- ・保安棟横花壇を「フジバカマ」の育成場とし、2014年春、加古川流域へ移植する。
- ・絶滅危惧種である「ガボテンキ」および「ガボノレモウ」の植え付け、育成を進める。

- ・土の面は、「チガヤ」を中心に「草原ビオトープ」を目指す。「フジバカマ」等を加えていく。ススキなどは、そのまま残していく。



添付資料： 工場配置図及び騒音測定場所

